

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-011

PDCA	事務事業名	道路舗装事業（維持修繕・改修）		部課等名	建設部土木課 建設担当		担当	鵜飼
							内線等	437
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち						
		節： 第2節 都市基盤の整備						
		基本施策： 3. 交通体系						
		単位施策： （2）生活道路の整備						
		個別施策： ①安心して利用できる道づくり						
	根拠法令等	—						
	対象・目的	市道における舗装の適切な維持管理						
	目的を達成するための手段・活動内容	道路パトロールおよび路面点検調査の結果による修繕計画に基づき、予防保全的な観点から計画的に修繕を進めていくとともに、住民要望等の内容を十分に精査し、緊急性、必要性を考慮して適切に修繕を実施する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①住民要望（個票）により実施した件数		5	14	1	件	
		②住民からの口頭等の要望及び道路パトロールでの発見により実施した件数		162	165	165	件	
		③過年度要望を予算化して実施した件数		37	23	29	件	
		事業費		249,696	161,166	157,811	千円	
		人件費		12,122	7,210	7,026	千円	
		総事業費		261,818	168,376	164,837	千円	
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①舗装維持に係る要望等1件当たりにかかるコスト		1,283	834	845	千円		
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①舗装修繕・改修路線数	実績値	14	6	8	路線	
			目標値	9	6	7		
			実績値					
			目標値					
実績値								
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B						
		修繕計画に基づいた舗装修繕5路線と住民からの舗装新設要望2路線に加え、住民通報により発覚した緊急性の高い1箇所の修繕を実施し、道路通行の安全性を向上することができた。舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合が異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
		過年度に実施した路面状況調査や道路パトロールなどで把握した劣化状況を反映させた修繕計画の見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕、改修を進めていく。						
	令和3年度の目標	成果指標					目標値	単位
		①舗装修繕・改修路線数					5	路線